

特集

学習の「質」を評価する パフォーマンス評価

活用する力を評価するパフォーマンス評価 石井英真

看護学教育におけるパフォーマンス評価 石川倫子

「わかる」から「使える」技術へのスムーズな移行を目指した看護技術評価 菅山明子

パフォーマンス評価による知識の再構成——実習の総括に活用して 安田千鶴／大野澄子ほか

第2特集 看護学生論文・エッセイ

【連載】

専任教員養成講習会におけるeラーニング活用後の報告・4(最終回) 阿部志真

看護学生・新人看護教員を対象としたリスクアセスメントトレーニング・4 齊藤美奈子／石川雅彦
心一文字・7 関家文苑＋水戸優子

ナースよ、リアリストたれ！ 中西睦子が語る看護と教育・8 松澤和正／中西睦子

看護実践力を育む教育方法の開発 日本赤十字広島看護大学の試み・13(最終回) 迫田綾子ほか

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・20 片山紀子

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・64 喜吉紘子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●私が子どもの頃育った地域には、いわゆる「はみ出し者」的な人がかなり多く住んでいました。ダウン症の人や身体障害者に混じって、今から考えると明らかに認知症なんだろうと思えるお年寄りもけっこういました。が、子どもの頃の私は、特集原稿で戸村さんも書かれていたように、ただただ「変な人」「怖い人」という認識でしかありませんでしたし、きっと親もそうだったと思います。●ただ、今後高齢化が進むに連れ、認知症の人に出会う機会は、昔に比べて格段に多くなるはず。これも戸村さんが書いているように、「精神看護を義務教育に」という考え方は案外早く現実になる可能性もあります。そうなったとき、その人々を教える看護師を、読者の皆さんがいま教えていると考えると、精神看護教育に向き合う姿勢もより前向きになるのではないのでしょうか。……大野

●梅雨前の湿っぽい空気が漂う紫陽花の季節ですね。私は大阪の泉州地域の出身で、この季節はシャコがよく(大量に)食卓に並びましたが、一部を除きほとんどの地域の方から理解し難いとの反応があります。上京して4年目。いつの間にか私の方でも、大量のシャコを思い起こせば、懐かしさと同時にシュールなものを見る気持ちとなります。こうして人は適応していくのでしょうか。●今号の中西睦子先生のお話に出る、「現実には患者がナースに適応している」という言葉をかみしめました。街でも人でも学校や会社でも、本当に適応しているのは人と環境、どちらでしょう。中西先生は、一方の目線を固定化して考えるな、とおっしゃっているように私は読みました。いい雑誌とは何か、考えるヒントにもしたいと思います。……番匠

看護教育 第55巻 第7号 2014年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan

(1部)定価: 本体1,400円＋税

2014年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版16,710円、冊子＋電子版/個人19,710円、冊子＋電子版/共有22,200円、電子版/個人16,710円、電子版/共有19,200円(いずれも税込、送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/14/ ¥500/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき500円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

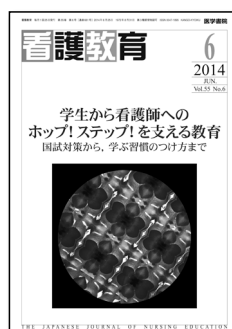
Vol.55 No.6

2014 年 6 月
特集

学生から看護師への ホップ！ステップ！を支える教育 国試対策から、学ぶ習慣のつけ方まで

教育の通過点としての国試、最低限の質保証としての国試、立場や見方によって「看護師国家試験」の位置づけはさまざまでも、その合格が看護師となるための必要条件であることに変わりはありません。どの養成所も避けて通ることはできず、それゆえ、国試との向き合い方を考えながら、教育のあり方を考えることになります。「教員のための国試対策」と題して 2013 年秋に開催された「医学書院看護教員『実力養成』講座」では、「国試対策」をキーワードに看護基礎教育をめぐる幅広い議論が展開されました。その内容は受験を間近に控えた学生を対象にした「対策」に留まらず、出題基準の改定、国試が受験者に求める能力、入学時からの学生指導、学校の文化醸成にまで及びました。本特集では 3 名の講師による講座のダイジェストとともに、その指導を受け現在は臨床で働く卒業生からのコメント、講座の参加者の声を紹介いたします。次の国試対策を改善するヒントを得ていただくと同時に、少し先を見据えて自校の教育のあり方を考える機会にしていきたいと思います。

- 国試対策は学生が入学したときから始まっている……………島田千恵子
- 国家試験で問われる能力をどう育成するか……………池西静江
- 誠実を胸に刻むこと、ともに未来を語ること……………大日向輝美
- 合格へ導くために教員全員で支援……………尾田恵
- 学生自身が主体であることを意識づける——国家試験対策での学校の役割……………船場清三
- 看護師国家試験全員合格に向けた取り組み……………畠山幸喜



Vol.55 No.5

2014 年 5 月
特集

ピアの力を信じよう 学生同士で教え合うしくみの活用

ピアとは「仲間、同士」のこと。学生自身が学び合い教え合う教育スタイルでは、この言葉がよく用いられます。教育において、「教え込む」のではなく「共に学ぶ」ほうがより効果的であることがよく知られるようになった現在、ピアの力を活用して学びを深めるさまざまな方法の採用が増えているように思います。看護の世界では、性教育において「ピア・エデュケーション」が、患者指導において「ピア・ラーニング」が、言葉としてよく聞かれますが、教育そのものにおいて「ピア」を本格的に活用しているケースはまだ多くはありません。しかし、「教えることで学ぶ」を日々経験されている看護教員の皆さんは、このような教育の効果は十分おわかりのはず。本格的なものではなくても、ぜひともピアの力を信じて、学生同士が学び合う方法を多く取り入れていっていただきたいと思います。もちろん、先生同士もピアだということもお忘れなく。

- 「ピア」の力を活かす試み 指導実習を中心に……………久保真知子／酒田紀葉子／北山敬子
- 5年一貫看護師養成課程におけるピアの力を活かした取り組み……………難波寛子
- 教え・学び合う『課題学習法』を活用したピア・ラーニング——小児看護方法論の取り組みと評価……………金城やす子
- 解剖生理学演習におけるピア・エデュケーションの試み……………東照正
- 大規模講義で行うアクティブラーニング ピア・インストラクション……………蔣 妍
- 対話で理解を深化させる授業デザイン……………三宅なほみ
- ピア・ラーニングを支える環境——主体的な学びを促進する学習環境としてのラーニング・commons……………山田礼子



[2014 年 4 月号 (Vol.55 No.4)]

「おかしいな」と
思ったときの学生指導

[2014 年 1 月号 (Vol.55 No.1)]

授業研究のすすめ

[2014 年 3 月号 (Vol.55 No.3)]

さまざまなアプローチに
よるリフレクション

[2013 年 12 月号 (Vol.54 No.12)]

移動介助技術の指導方法
ボディメカニクスを実践に活かす

[2014 年 2 月号 (Vol.55 No.2)]

効果的な授業の
工夫としての e ラーニング

[2013 年 11 月号 (Vol.54 No.11)]

助産師教育の現状と課題

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2012 年 5 月号 (Vol. 53, No. 5) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2012 年 6 月号 (Vol. 53, No. 6) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。